注　意

1

28．11．251800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７７６号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
(1)　情　勢
(2)　本日の活動成果
(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
(1) 本日の成果
　　活動概要
(2) 明日の活動
　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
(1)　気　象
(2)　暫定政府樹立までの主要結節
(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　日本隊に及ぼす影響
(4)　部隊配置状況
(5)　タスク現況
(6)　警備の態勢

１　本文（要約）

１　情　勢

(1)　全　域

ア　衝突解決合意関連

衝突解決合意は、キール大統領が９月３０日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、安保理においては衝突解決合意が進展していないという認識を示されている事から、今後、国際社会からの圧力が強まるものと予想され、これに対する暫定政府の反応には注視が必要

一方、南スーダン国内外における両勢力からの離反に関する動きは停滞しているものの、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことや、キール大統領がコンゴに所在する反主流派（マシャル派）戦闘員に対する恩赦を表明したことから、両勢力の動向には注視が必要

また、緊張状態が継続する北部へのオロニー中将の帰還の動きが見られるとともに、ユニティ州のベンティウ～リーアにかけて政府軍及び反主流派（タバン派）の部隊と反主流派（マシャル派）戦闘員との衝突が生起しており、注視が必要

イ　その他の情報資料

キール大統領は近隣諸国からの地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せているものの、ケニアがＵＮＭＩＳＳからの一部の部隊をすでに撤退させていることから、歩兵部隊の再展開及び地域保護部隊への差出国の協議には時間を要するものと思料され、併せてＵＮＭＩＳＳのプレゼンスが減少することによるワウ及びジュバにおける治安状況の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や西エクアトリアにおいて暫定政府に対する攻撃が活発化する等、その動向には注視が必要

凡例　赤字：変化事項

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクアトリア一帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起しており、部族間の対立の大規模な衝突への発展には注視が必要

また、イェイ方向やロコン方向への政府軍車両及び兵士の移動が確認される等、ジュバ南部及び西部の動向にも引き続き注視が必要な状態が継続

加えて、郊外の経路上ではＳＯＦＡ違反が継続しているが、ＵＮＭＩＳＳに対する攻撃や強盗は確認されておらず、そのプレゼンスの発揮は地域の治安の安定に有効であるものと思料

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間の集会等禁止令の下令や、政府軍宿舎に対する銃撃等、夜間の不安定な治安状態は継続しており、昼間の警備強化の兆候は確認されていないものの、今後の市内の状況の変化には注視が必要

また、市内では、米国による安保理への制裁に関する提案に関連する、反ＵＮ、反米国デモ及びＳＯＦＡ違反発生の可能性は否定できず注視が必要

ＵＮハウス周辺では、非武装地域の設定後から発砲事案は減少傾向にあるものの、依然として昼間の発砲音が確認されるとともに、米国による安保理への制裁決議にキール大統領が含まれていないことに対するＩＤＰ内の不満が確認されており、ＵＮハウス周辺での小競合いへの巻き込まれには、注意が必要

(4)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては昼間における射撃やＩＤＰの不正なＰＯＣサイトへの侵入が確認されていることから、近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、ＵＮＭＩＳＳ部隊や地元民が通常通りの活動を実施しているものの、引き続き注視が必要

ジュバ～マンガラ間は、特段の治安事象も確認されずＮＧＯが経路沿いで作業を実施する等、安定している模様

２　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮハウス地区及びトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫内ヘスコ補修、メインゲート支柱埋設孔穿孔及びＵＮトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

また、物品管理検査受検に万全を期す。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内（成果：１０ｔ）及びＵＮハウス地区内（成果：２ｔ）における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(ｲ)　ＵＮハウス地区メインゲート支柱埋設孔穿孔

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区メインゲートにおける支柱埋設孔の穿孔

(ｳ)　ＵＮハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区弾薬庫内におけるヘスコ補修

(ｴ)　ＵＮトンピン内退避壕構築

施設器材小隊及び第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(ｵ)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市内におけるマラム運搬

ウ　その他の活動
(ｱ)　情報活動
ａ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察
ｂ　情報班をもって、トンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動
(ｲ)　業務調整
隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内、ＵＮハウス地区内及びジュバ市内における業務調整
(ｳ)　宿営地内活動
本部付隊をもって、宿営地管理業務
(ｴ)　教育訓練等
な　し
(ｵ)　民生協力
な　し
(ｶ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業者対応
(ｷ)　警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援
(ｸ)　隊本部をもって、南スーダン外務省における業務調整
(ｹ)　隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務
(ｺ)　隊本部をもって、ジュバ空港におけるウガンダ出張者の送迎
(ｻ)　各部隊ごと、活動地域における第１１次要員への引継ぎ業務
(ｼ)　警備小隊等をもって、ＵＮトンピン地区内における車両操縦練成
(ｽ)　会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務
(ｾ)　輸送調整幹部等をもって、ウガンダにおける輸送調整業務
(ｿ)　隊本部をもって、ジュバ市内におけるＣＲＦ後方補給部長ジュバ市内視察対応
エ　表敬等
(ｱ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮトンピン地区における工兵課長表敬
(ｲ)　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮハウス地区におけるネパールＦＰＵメダルパレードへの参加
オ　各種行事等
な　し
カ　国際機関等連携案件
な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動及び人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮトンピン地区退避壕構築を実施するとともに、孤児院慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。

また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

ＵＮトンピン内退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

な　し

(ｳ)　宿営地内活動

ａ　本部付隊をもって、宿営地管理業務

ｂ　各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

(エ)　教育訓練等
　　各部隊毎、ＵＮトンピン地区内及びジュバ市内における車両操縦練成
(オ)　民生協力
　　な　し
(カ)　隊本部等をもって、ジュバ市内孤児院における慰問及びセレモニーの実施
(キ)　隊長による、ジュバ市内孤児院における慰問視察及びセレモニー参加
(ク)　会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務

エ　表敬等
　　隊長及び第１１次隊長による、ＵＮハウス地区におけるエチオピア歩兵大隊夕食会への参加

オ　各種行事等
　　な　し

カ　国際機関等連携案件
　　な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施設	ＵＮトンピン内退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	２０		小型×１、散水車×１		
			１小隊			７	７	大型×２、ローラ×１		
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット エチオピア歩兵大隊	２		給水車×１		
③	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパールＦＰＵ	２		給水車×１		
④		業務調整（人事）	隊本部（Ｓ－１）	０８３０～１６３０	ＩＤセクション	２		小型×１		
⑤		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０７３０～１２００	工兵課	３	１	小型×１		
⑥		業者対応（施設器材）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	ウエストゲート	２		小型×１		
⑦		広報活動	隊本部（広報）	０７３１～１６００	ＵＮトンピン内	１	２	小型×１		
⑧		車両操縦練成	警備小隊	０９００～１６００	ＵＮトンピン内					
⑨		車両操縦練成	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン	１	１	小型×１		
⑩		工兵課長表敬	隊本部（Ｓ－１）（Ｓ－３）	１３５０～１５００	工兵課	５	２	ランクル×１ 小型×１		
⑪		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内					

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



⑦	広報活動
⑧ ⑨	車両操縦訓練
情	情報収集

別紙第１－３

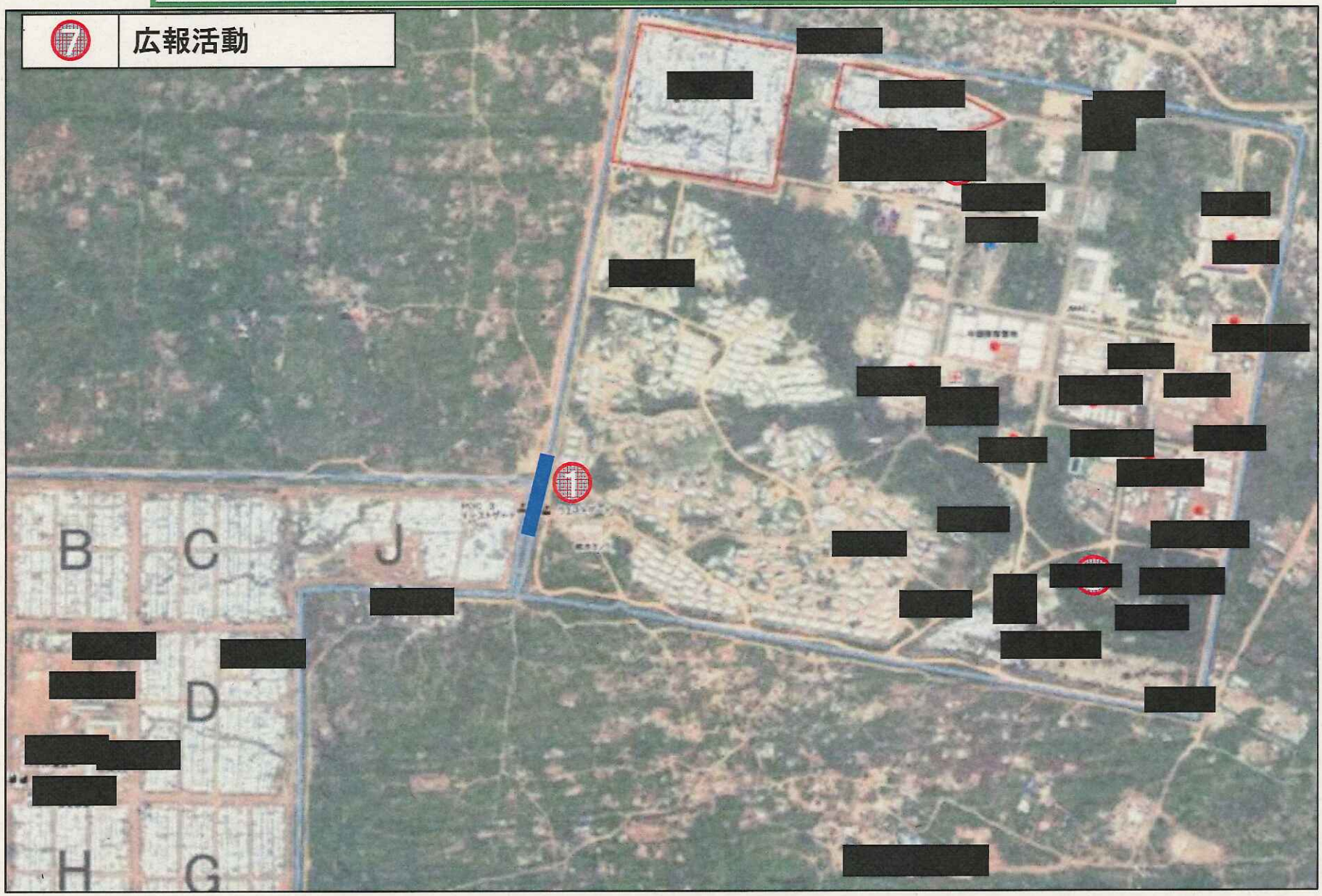
活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３１～１６３０	ＵＮハウス西側	１９	６	高機×３、大型×２ 特大型×１	[redacted]	
②		ＵＮハウスメインゲート 支柱埋設孔穿孔			メインゲート					
③		ＵＮハウス地区 弾薬庫内ヘスコ補修	３小隊	０７３２～１６３０	弾薬庫	１１	５	高機×２、大型×２ 特大型×１		
④		ＵＮトンピン地区退避壕構築 （土砂運搬）	１小隊	１２３０～１６３０	ＵＮハウス	７	７	高機×１、大型×４		
⑤	その他	ネパールＦＰＵメダルパレード	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３）	０９００～１５４０	ネパールＦＰＵ	２	２	ランクル×１		
⑥		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０７３０～１３００	工兵課	２	２	高機×１		
⑦		広報活動	隊本部 （広報）	０７３０～１６３０	ＵＮハウス	３	２	高機×１		
⑧		給　水	補給班	０８３０～１２００	ＵＮハウス	２		給水車×１		

凡例　UNタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



活動概要（ジュバ市内）（５／７）

別紙第１－５

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施設	マラム運搬	器材小隊 衛生班 整備班 情報班	０８３０～ １６００	ルリ橋北側	8	5	高機×２、特大型×４		
②	情報	経路偵察	隊本部 （S－２）		ジュバ市内					
③		情報収集	情報班		ジュバ市内					
④	その他	重車両輸送支援	警務班	０７２０～ １４００	ビルファムロード	2		高機×１		
⑤		現地調達（会計）	隊本部 （S－４）	１４１５～ １６００	ジュバ市内	2	3	高機×１		
⑥		ＣＲＦ後方補給部長 ジュバ市内巡視	隊本部 （S－４）	０９００～ １４００	ジュバ市内	8	3	高機×1、ランクル×1		
⑦		端末地輸送 （輸送調整送迎）	隊本部 （S－４）	１５３０～ １８３０	ジュバ空港	3	3	高機×1		
⑧		業務調整（広報）	隊本部 （広報）	１３３０～ １６００	ジュバ空港 情報放送省	3	3	高機×１		
⑨		現地調達（補給班）	補給班	１３００～ １６００	ジット LA BAGETTO	3	1	高機×1		
⑩		南スーダン外務省 業務調整	隊本部 （S－４）	０８３０～ １５００	南スーダン 外務省	3				

凡例　UNタスク

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



本日の活動成果

マラム運搬

活　動　中
施設器材小隊【１１．２５　１１００現在】



活　動　中
施設器材小隊【１１．２５　１１３０現在】



活　動　成　果	
日々 累計 [redacted]	マラム運搬

別紙第２－２

本日の活動成果

ＵＮトンピン地区退避壕構築

活　動　中
施設器材小隊及び第１施設小隊
【１１．２５　１１００現在】



活　動　中
施設器材小隊及び第１施設小隊
【１１．２５　１６３０現在】

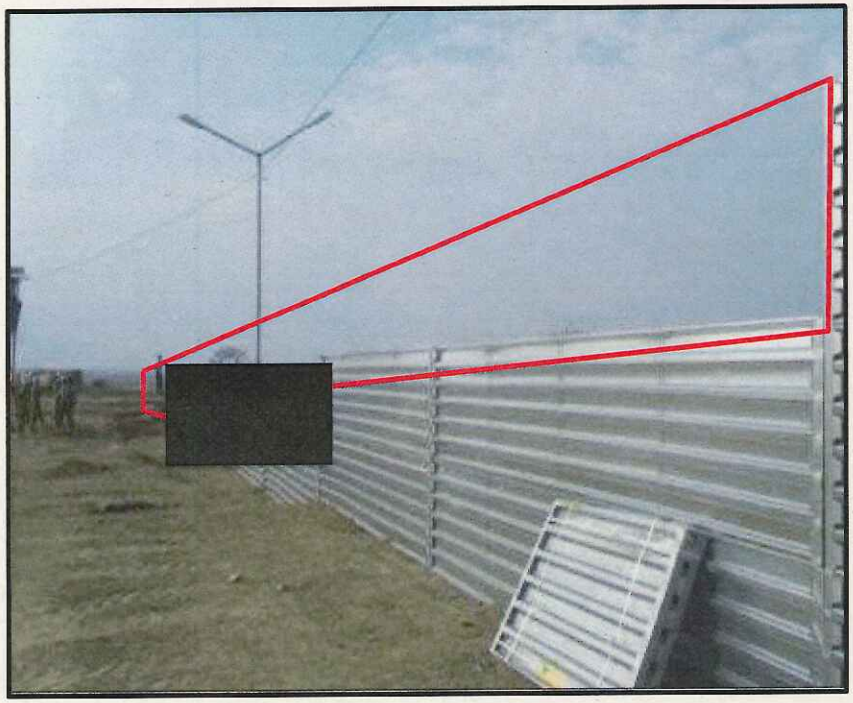


活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	退避壕第１工区一層目ＲＣ打設

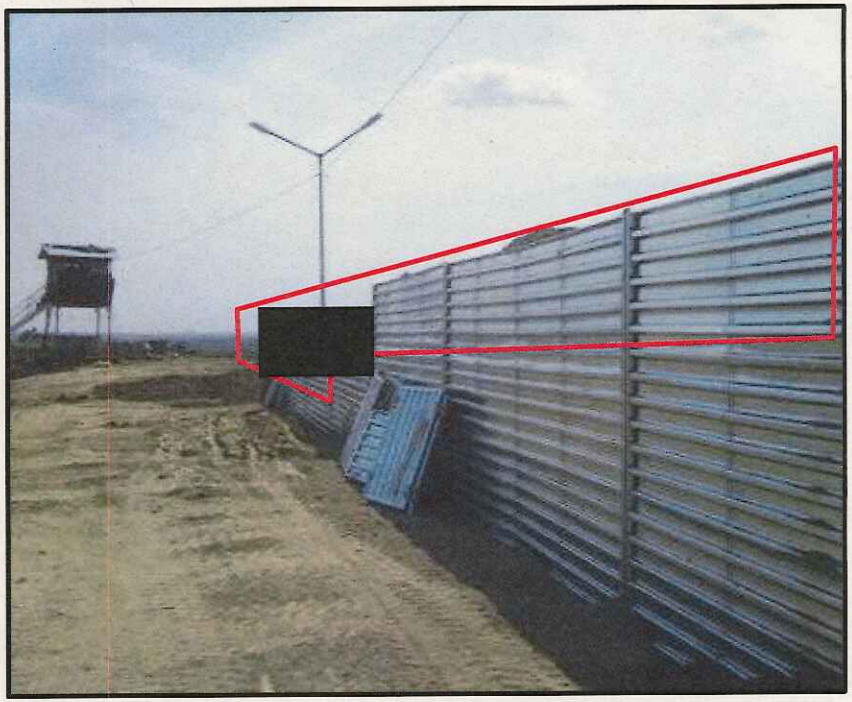
本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【１１．２５　０９００現在】



活　動　後
第２施設小隊【１１．２５　１３００現在】

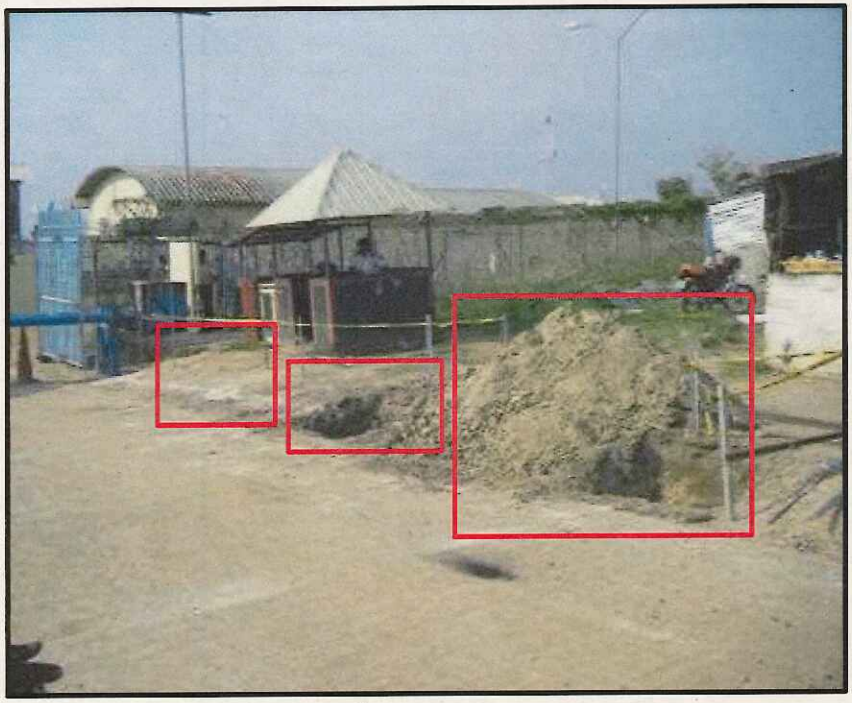


活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	・測量経始 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・整地作業

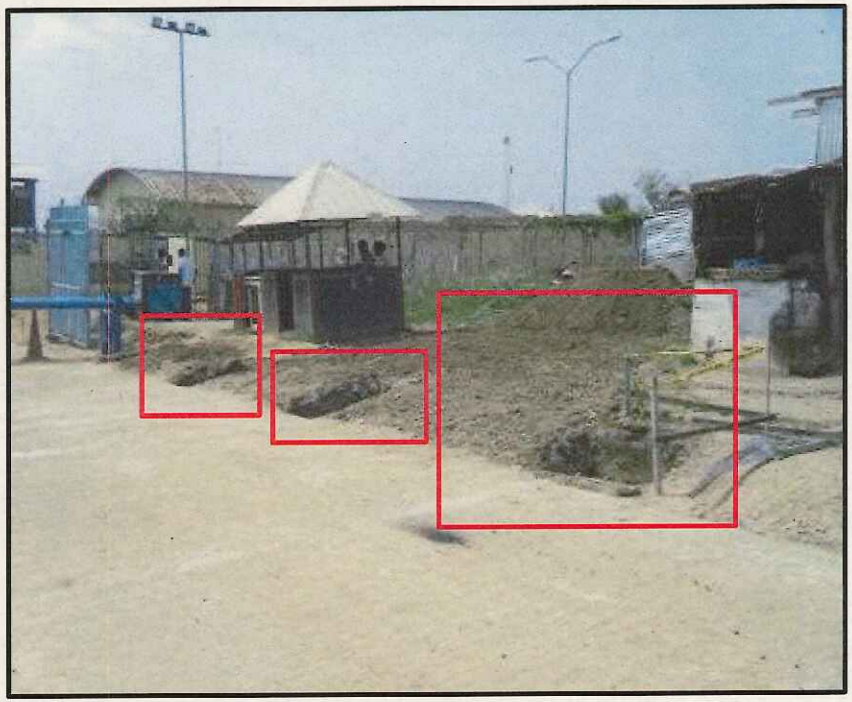
本日の活動成果

ＵＮハウス地区メインゲート支柱埋設孔穿孔

活　動　前
第３施設小隊【１１．２５　０９００現在】



活　動　中
第３施設小隊【１１．２５　１３００現在】



活　動　成　果	
進度　　実施：１００％／計画：１００％	・支柱埋設孔の穿孔

本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修

活　動　前
第３施設小隊【１１．２５　０９００現在】



活　動　中
第３施設小隊【１１．２５　１１００現在】



活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	・ヘスコ撤去作業（ＯＰＳ）

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／13）／Situation

別紙第３－１

凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　衝突解決合意履行に関する情報

新規事象等なし

(2)　衝突解決合意不履行に関する情報

1 [redacted]

2 [redacted]

3

4

情　勢（２／１３）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

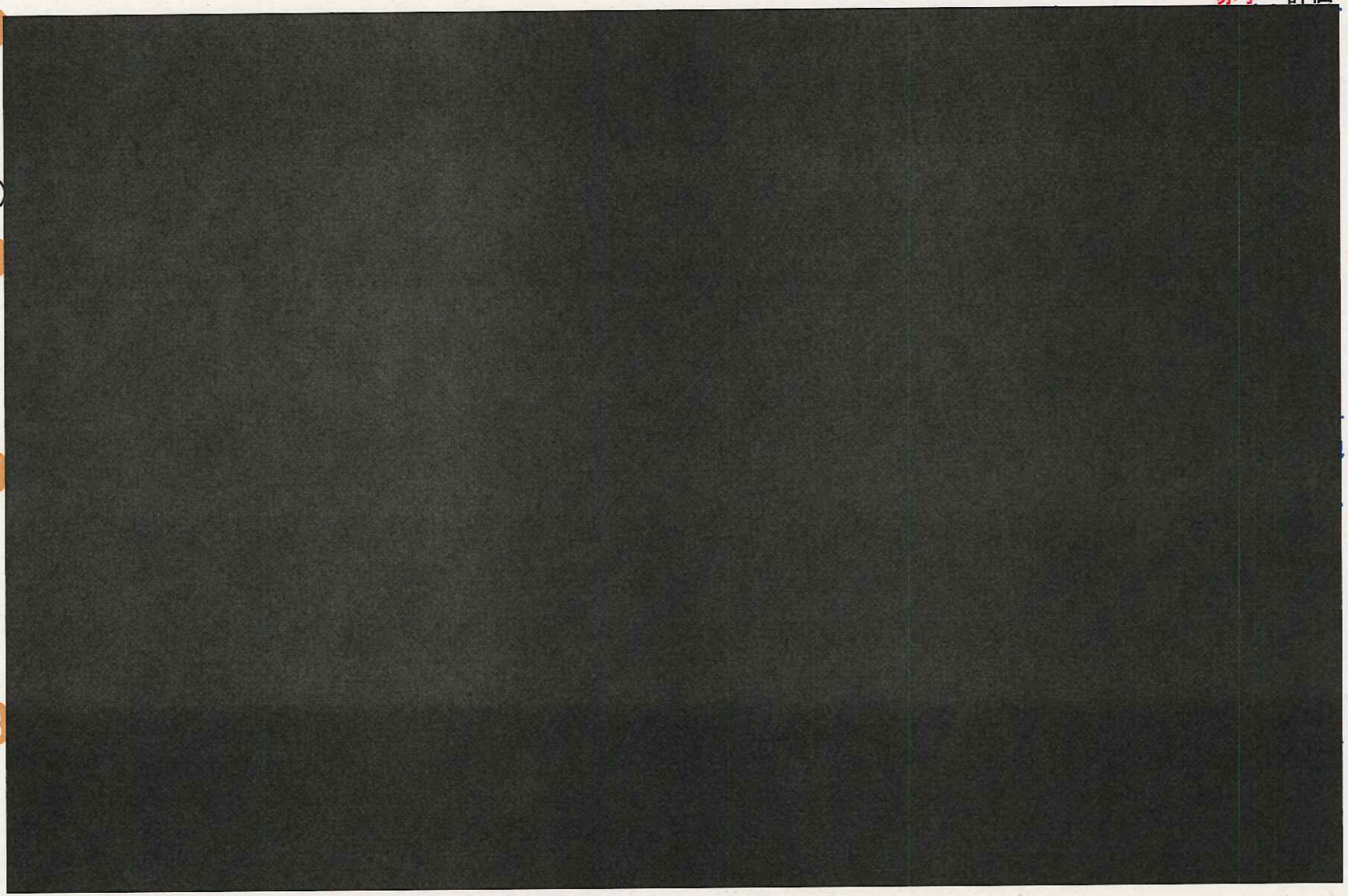
5

(3)

6

7

8



情　勢（３／１３）／Situation

別紙第３－３

凡例　青字：新規
赤字：評価

⑨ [redacted]

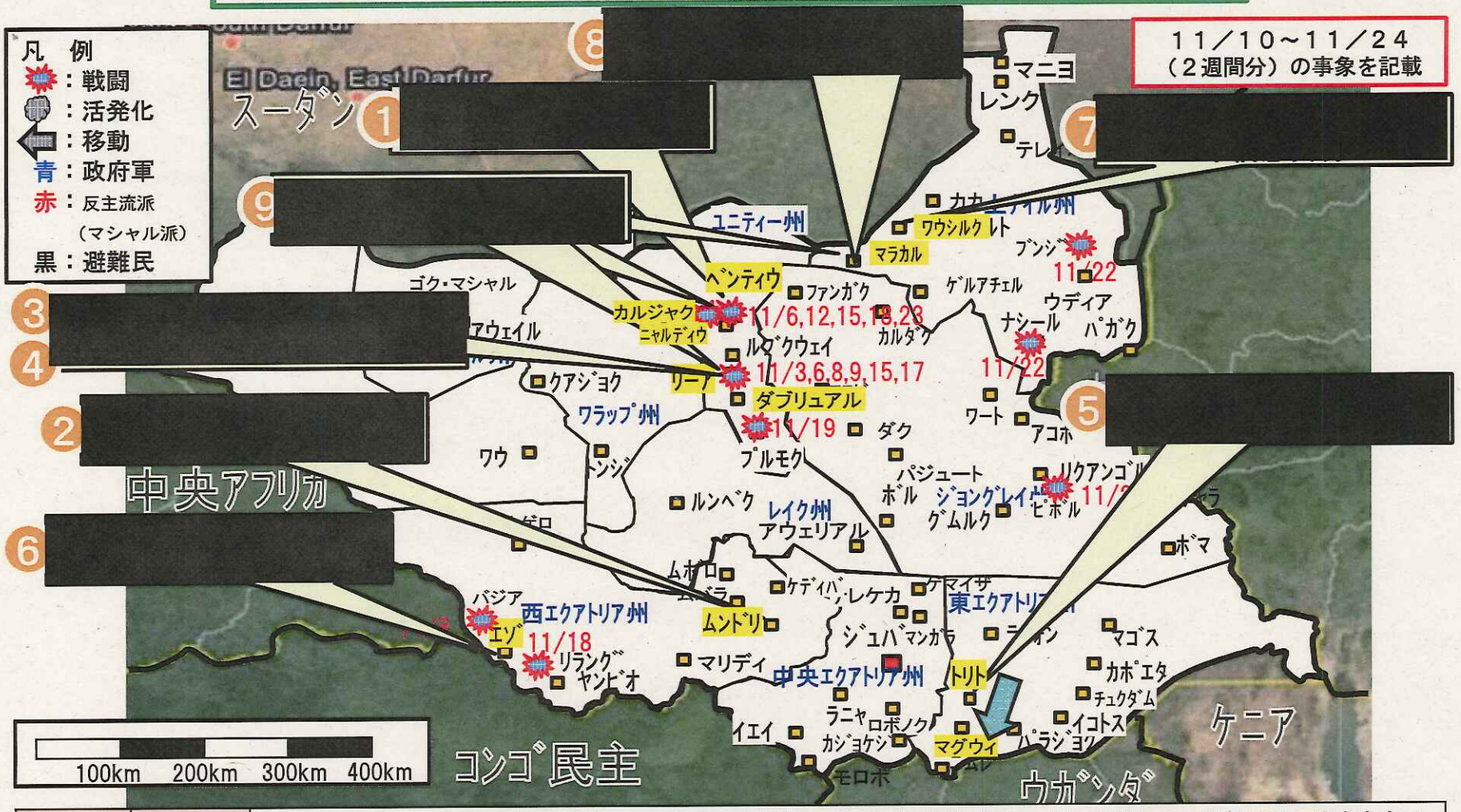
■　ポール・マロン参謀総長は、「紛争終結のためのあらゆる選択肢に対して準備ができている。」旨の発言をしており、多くの専門家らは、「政府は和平プロセスへの取組を継続していると表面上は主張しているが、実際は積極的に戦争の準備をしている。」と分析している模様
（２４日　SudanTribune　“ S Sudan army commander says ready for any option to end war”）
→　乾季への移行に伴う政府軍の動向には注視が必要（現在、ＳＰＬＡ内での動員や大規模な部隊移動の兆候なし）

■　大統領顧問は、「州数の増減に関する協議は精査された解決策を講じるために現在も継続している。」旨の発言をした模様
（２４日　SudanTribune　“ S Sudan presidency undecided over number of states”）
→　州数の増減及び境界の設定に関しては、部族間の対立等の原因と成り得るため今後の動向に注視

■　２３日、スーダン大統領と南スーダン大統領は、赤道ギニアにおける第４回アフリカン・アラブ・サミットの場で会談し、２国間で署名された合意を履行するための協議において合同委員会が直面した問題を解決するため、直接コミュニケーションをとることで合意した模様
（２４日　SudanTribune　“ Bashir,Kiir agree to establish hotline to accelerate imprimentation of signed deals”）
■　キール大統領は、全ての治安機関及び武装部隊に対し、南スーダン国内において駐留又は活動しているスーダンの敵対組織がいないことを確実にするよう指示した模様
（２４日　SudanTribune　“ S Sudan leader directs expulsion of Sudanese rebels”）
→　スーダンと南スーダン政府間の良好な関係性の構築はマシャル氏の活動を制限するものと思料

別紙第３－４

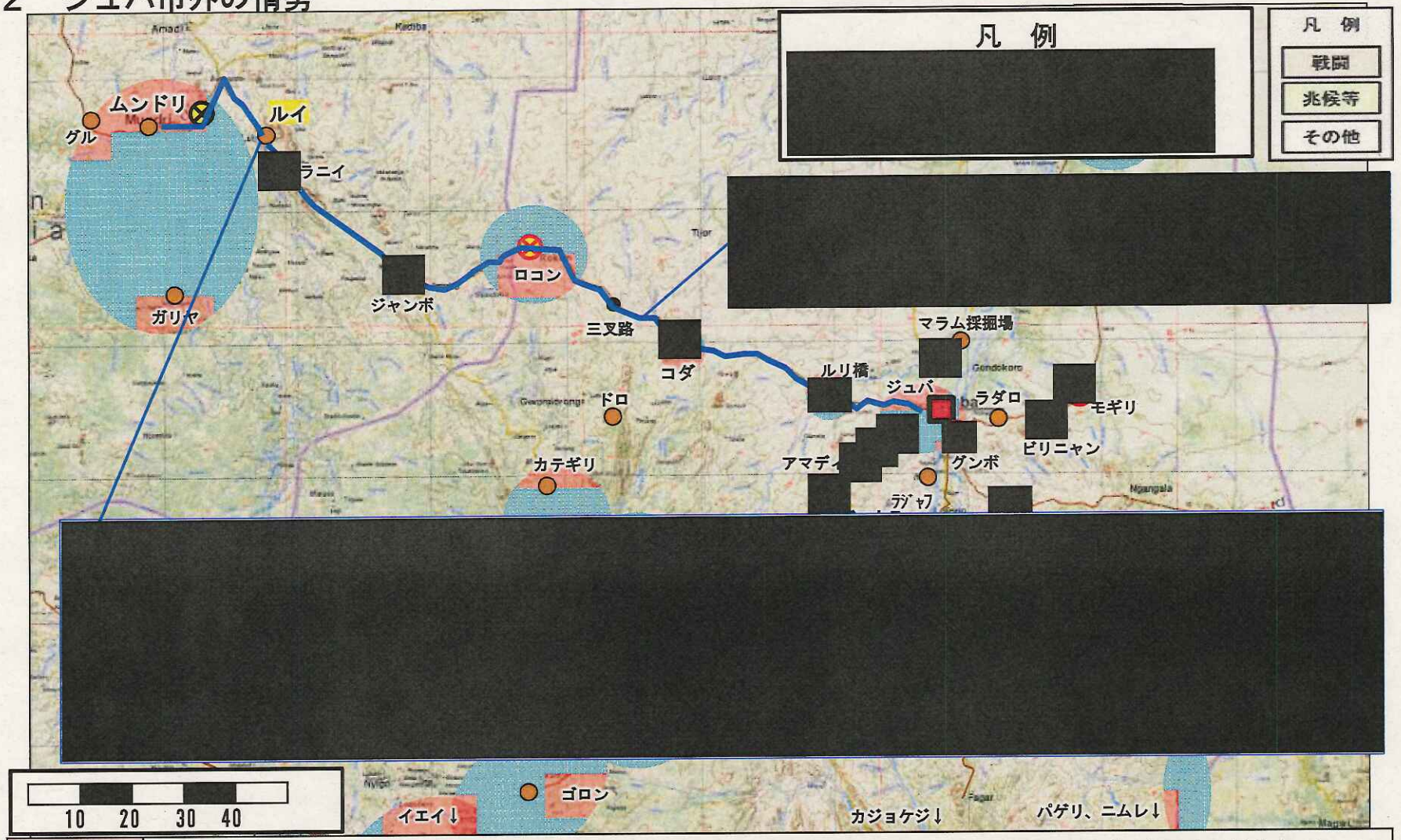
情　勢（４／１３）／Situation



評　価	衝突 解決 合意	南スーダン政府は、安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意しているものの、政府高官での相反する発言も確認されており、安保理協議の動向及びケニア撤退の影響には注視が必要 北部において、政府軍と反主流派（タバン派）の連合軍と反主流派（マシャル派）との衝突が継続しており、マシャル氏のキール政権打倒のための武力抵抗に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、東、西エクアトリア地域では武装集団による襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	乾季への移行に伴うものと思料される牛の移動等が確認されており、今後、各地での部族間対立発生の可能性は否定できず、注視が必要

情　勢（５／１３）／Situation

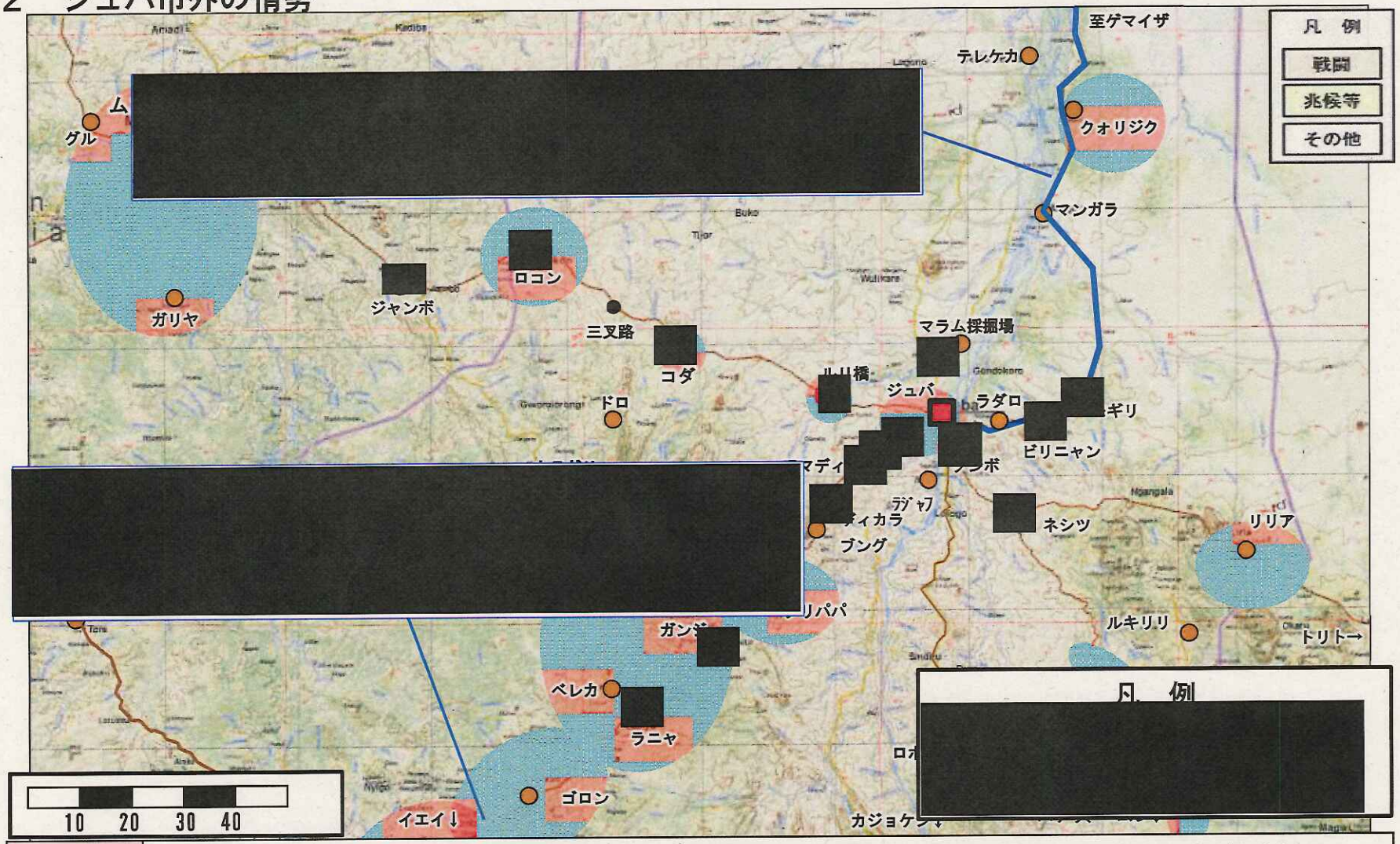
２　ジュバ市外の情勢



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、射撃事案、道路沿いで政府軍に対する反主流派（マシャル派）による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

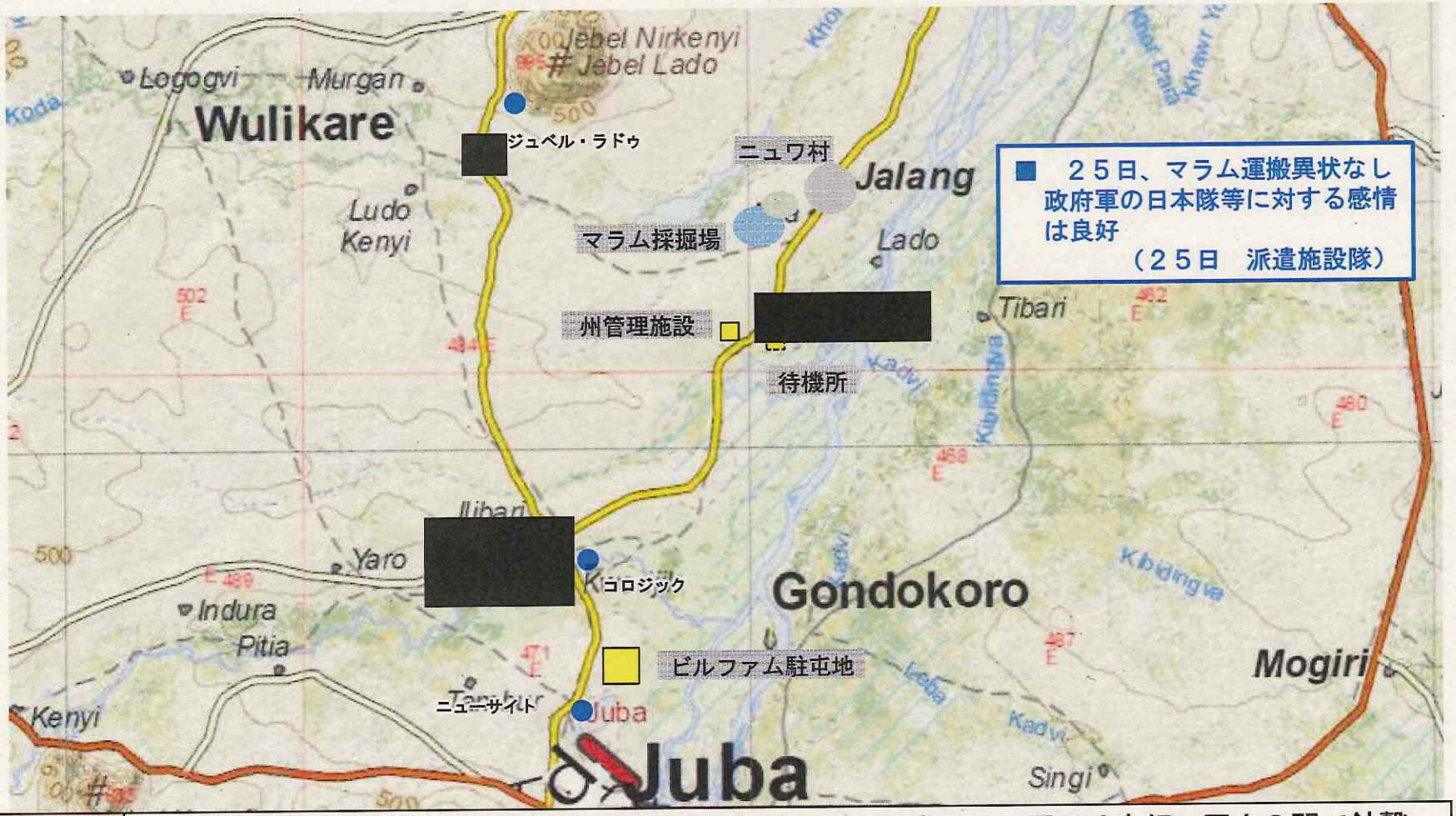
情　勢（６／１３）／Situation

２　ジュバ市外の情勢



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、射撃事案、道路沿いで政府軍に対する反主流派（マシャル派）による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（７／１３）／Situation



評　価	地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼い）と政府軍との間又は牛飼い同士の間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が発生する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要 また、食糧確保のために、ビルファムロード沿いに北上する牛飼い等の所有する家畜への衝突にも併せて注意が必要

情　勢（８／１３）／Situation

ＭＳＲ事前偵察成果

全　般		隊は、ＭＳＲ（マンガラ）偵察を実施し、じ後の整備実施に資する現地治安状況、整備所要等を把握した。特に、マンガラにおける副郡長等との情報交換及び器材置場設定の可能性を確認するとともに、ＦＰ、　ＭＬＯ、政府軍ＭＬＯとの連携要領を、第１１次要員に対するＯＪＴとして実施することができた。
偵察結果	施設偵察	１　全般的に重車両の通行を制限するような道路・橋梁の破損なし ２　作業所要は、１ヶ月半程度の工期で終了できる程度である事を確認 ３　移動時間は往復で６～８時間であり、１～３時間程度の作業を実施しても日帰り可能（器材置き場の設定は、業者との調整が必要であり、困難なものと思料）
	治安状況等	１　各検問所の状況 (1) [redacted] (2) [redacted]であり、ハラスメント等はなく、対ＵＮ感情も良好 ２　経路上 車両の往来は民間車両及び軍車両ともに少、治安状況は平穏 ３　マンガラ周辺 政府軍が駐留し、住民の対ＵＮ感情及び治安状況も良好
	通信伝達状況	[redacted]
ＦＰとの連携		移動間の連携（連絡要領、速度管理等）及び下車時の連携（警戒要領等）については、概ね良好

評　価	同経路上では武装集団（ムルレ族）による襲撃や、政府軍の同集団に対する掃討作戦が実施されたが、同地域にはキャトルベース（牛の収容所）もあり、乾季に伴う牛飼いに起因する部族間の衝突とみられ、今後もその動向に注視

情　勢（９／１３）／Situation

ＭＳＲ事前偵察成果





マンガラでの
バングラ工兵隊のＴＥＹ
（トライスター社船着場）



マンガラ内の景況
（住民感情良好、平穏）



マラム採取場の景況
（十分な量を確認）



[redacted]との連携
（第１１次要員も認識）



車列の景況
（[redacted]）



前進間における橋の景況
（車両通過問題なし）

情　勢（１０／１３）／Situation

３－１　ジュバ市内の状況

■　１５日に４名が何者かによりニーム地区において殺害された模様（時間帯不明）
（２１日　[redacted]）

[redacted]

■　２５日、００５９頃、ムヌキ地区において射撃音２発確認
（２５日　警衛隊）

→　警告射撃と思料されるも、夜間の流れ弾には注意が必要



評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

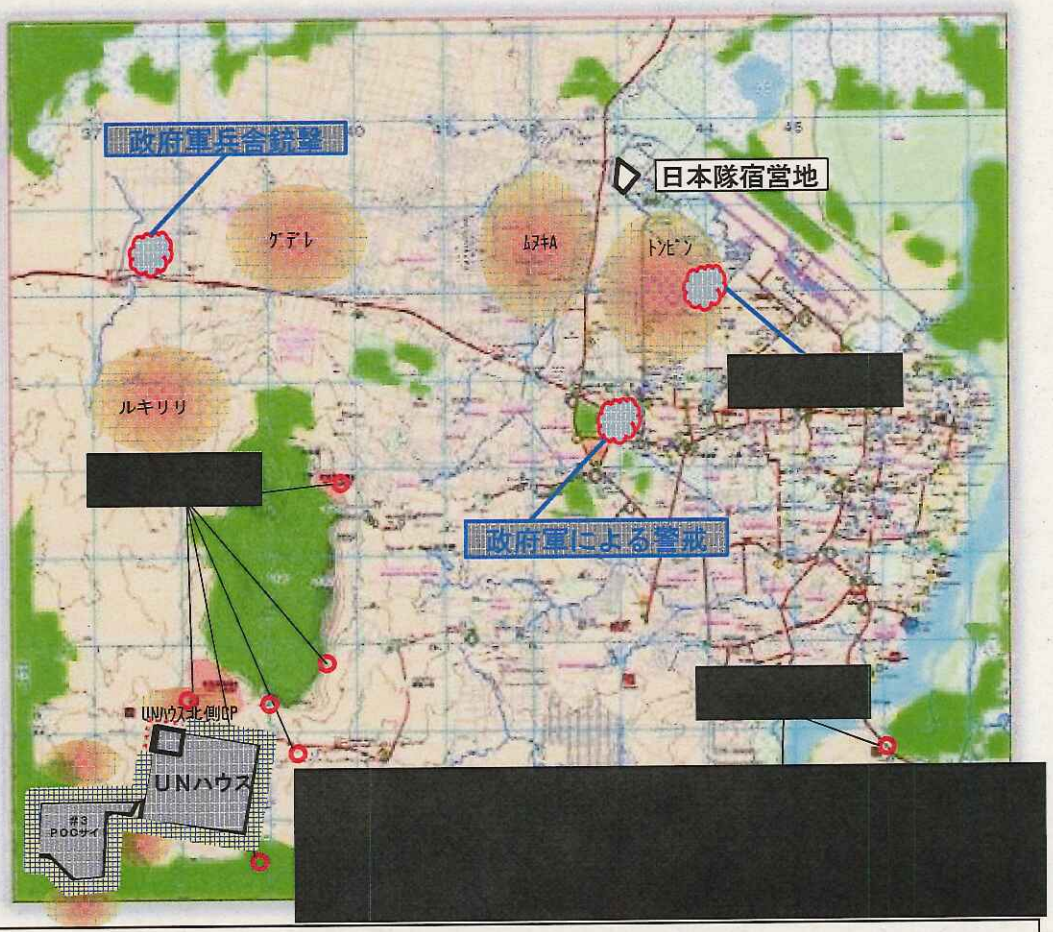
情　勢（１１／１３）／Situation

３－２　ジュバ市内の状況

■ [redacted]
→ [redacted]

■　２５日０３００頃、グデレ２に所在する政府軍兵舎が何者かにより銃撃を受け、政府軍が応射し、犯人の１名は射殺され、残りは逃走した模様。現在、政府軍情報部が調査中
（２５日 [redacted]）
→　市内の緊張を高めかねない事象であり、政府軍による夜間の取締りの強化、警告射撃が増加するものと思料
　昼間の市内での検問数の増加や配置人数の増加は確認されておらず、昼間の活動には影響を及ぼさないものと思料されるが、状況の変化には注視が必要

■　２５日１１００頃、議会場周辺において、政府軍兵士が周囲を警戒しているのを確認
（２５日　施設隊）
→　毎週金曜日の定例閣僚会議が実施されているものと思料



評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

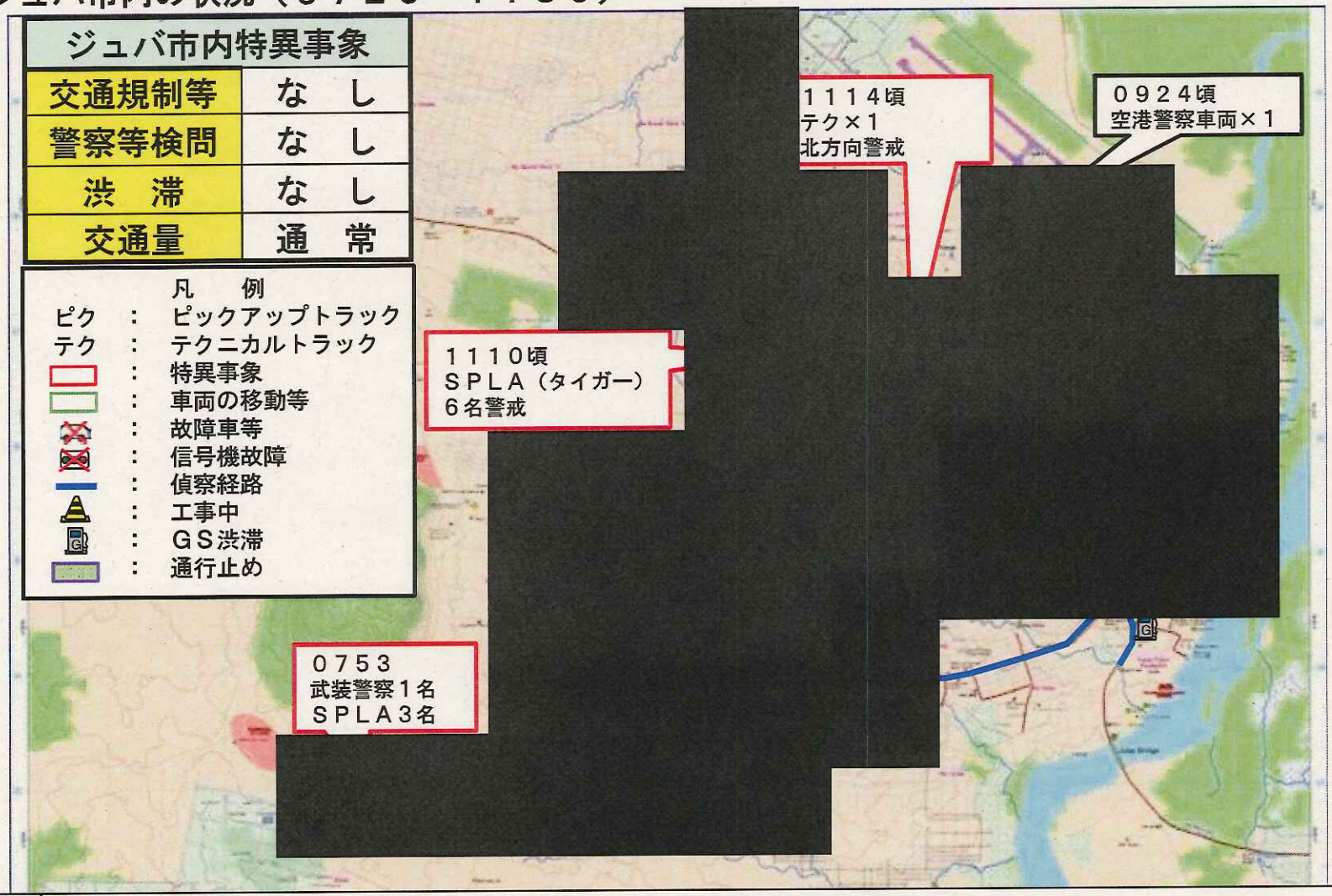
情　勢（１２／１３）／Situation

4　ジュバ市内の状況（０７２０～１１３０）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常

凡　例

ピク　：　ピックアップトラック
テク　：　テクニカルトラック
：　特異事象
：　車両の移動等
：　故障車等
：　信号機故障
：　偵察経路
：　工事中
：　ＧＳ渋滞
：　通行止め



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（１３／１３）／Situation

５　気　象（０６００ｉ）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	晴れ	２６℃	４０℃	３５％	７０％	０mm	
カンパラ	晴	１６℃	３０℃	５１％	９７％	４mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第４－１
１１月２５日１８００ｃ

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％	な　し	
車　両	９９％	高機動車×１ 右Ｒショックアブソーバ折損	部品請求実施 →
施　設	１００％	な　し	
通　信	１００％	な　し	
需　品	１００％	な　し	
衛　生	１００％	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 →

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－２

１１月２５日１８００ｃ

区　分		品　名	総　数	取　得	返　納	保　管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－３

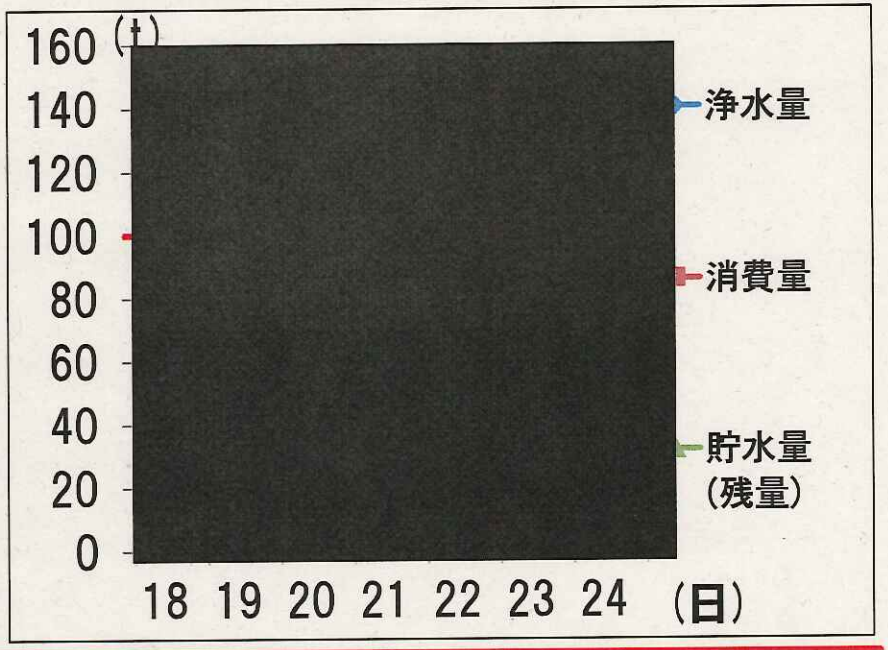
[redacted] 喫食者数：４２２名（第１０次要員２９５名、第１１次要員１２９名、出張２名）１１月２５日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	その他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28.11】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
金	１８			
土	１９			
日	２０			
月	２１			
火	２２			
水	２３			
木	２４			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	
トランジット	3
ネパールＦＰＵ	
ネパール歩兵中隊	2
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	3
合　計	8

【評　価】
○第4井戸
→取水量は安定傾向を保っているが、砂の埋没等による再故障を未然防止するため、定期的な水深等の調査を実施
○第5井戸（工事期間：10月20日から11月下旬）
→水質等検査の結果、水質・水量及び土質が長期使用には適さないと判断したため、近傍地域の別の場所に再掘削を実施
（11月17～21日掘削完了、28日～配管作業実施予定）
○11次要員先発到着に伴う人員増加
→浄水量・消費量の増加量を踏まえた適切な生活用水使用統制及び各隊員の更なる節水意識の高揚

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　　６名

１１月２４日１８００ｃ
～１１月２５日１８００ｃ

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
本部付隊	３名	[redacted]	
			第１１次要員×２
第１施設小隊	２名		
情報班	１名		

凡例：　（再）　　→　再　診

別紙第６

人員現況／Personnel Status

１１月２５日１８００ｃ

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（UNトンピン）	２９５	２	２９３	ウガンダ出張２名（会計幹部、通訳班長）	
第11次要員		１２９		１２９		
来隊者		３		３		○　ＣＲＦ後方補給部長以下、３名
計		４２７	２	４２５		

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　赤字：強調　青字：不在者

活動の分析及び評価

別紙第７－１

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	11/12, 14, 15, 16, 17, 20, 22, 24, 25 近傍での射撃（特に夜間）	[redacted]
	UNトンピン	反UNデモ	9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
	UNハウス	反UNデモ	9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		ＩＤＰ等の流入又は侵入		
		流れ弾		
			10/4~ WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）パトロール	
	#１POCサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ		
	#３POCサイト	ＩＤＰデモ		
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	9/17　政府軍のPOCサイトへの侵入	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

別紙第７－３

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted] 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/28 ｴﾁｵﾋﾟｱ首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 [redacted] 11/15 安保理協議 11/17 安保理制裁協議 11/17,18 ｸﾗｳﾝﾎﾃﾙでJMEC会議 11/19 SPLMハウスでレッドアーミー集会（大統領参加予定） 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対 11/22 JMEC全体会合	[redacted]
		反ＵＮデモ	8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 11/4 ケニアの撤退への反対を政府が表明 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		流れ弾	[redacted] 11/2,3,4,5,6,12,14,15 ｼﾞｭﾊﾞ市内における射撃（夕方以降） 11/25 政府軍に対する銃撃	

活動の分析及び評価

別紙第７－２

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は　　存在	[redacted]
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/26 ジュバ－マンガラ間の治安部隊の配置 11/2, 8, 14 ジュバ－トリト道沿いの民間車両襲撃 11月初旬 イェイからのIDPのビリニャンへの移送 11/14 ジュバ－マンガラ道沿いで政府軍及び民間車両に対する襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ	10/14 コダでの政府軍と反主流派の衝突	
			10/30, 12, 24 反主流派のムンドリ近郊での活動	
		ハラスメント	[redacted]	
		犯罪への巻き込まれ	11/5 ジュバ郊外東部グレイで民間人による銃の乱射	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 マラム採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		ハラスメント	[redacted]	
			11月 検問を異状なく通過	
			[redacted]	
			11/1-2　外国高官の来訪 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音 11/3, 4　検問に所在するSPLA兵士の感情良好 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		犯罪への巻き込まれ	11/8 牛飼いは乾季に伴い北へ移動し、やや減少 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	

活動の分析及び評価

別紙第７－４

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、ＵＮＭＩＳＳ車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要 ジュバ～マンガラ間は、ＵＮＭＩＳＳ車両に対する直接的な脅威は確認されていないものの、政府軍によるムルレ族武装集団に対する掃討作戦が実施されていることから、流れ弾及び検問所近傍における衝突への巻き込まれには注意が必要 マラム採掘場に至る経路沿いでは、ＵＮＭＩＳＳ車両の通行に対する直接的な脅威は確認されていないものの、犯罪への巻き込まれには注意が必要 ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺの設定以降射撃は減少傾向にあるものの、昼間の発砲音が確認されていることから、流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、ＰＯＣサイトへ禁止物品を持ち込もうとするＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との間で小競合いが発生するとともに、安保理制裁に関するＩＤＰによるデモも確認されていることから、巻き込まれには注意が必要 ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、夜間の政府軍兵舎に対する銃撃に関する情報も入手されていることから、検問、兵士の増加、警戒の程度等の市内の状況の変化には注意が必要 加えて、ケニア軍の撤退に関して国際社会、暫定政府及び反主流派（マシャル派）は、ケニア軍の引き続きの駐屯を望んでいる事や、国際社会からの衝突解決合意の遅延に関する圧力が今後、高まる可能性があり、これに反発するデモ及びハラスメントに注意が必要

総　括

評　価 （総括）		・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、大きく影響なし ・　ジュバ市内（マラム運搬除く）の移動・活動は安保理の声明において武器禁輸に関する言及がなかったものの、空港・検問によるハラスメントの可能性は否定できず、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、予備経路の指定など処置が必要である。 　マラム運搬については情勢の確認のほか、事前のＭＬＯ等との調整、ＣＰによる治安状況、ハラスメントの兆候の把握が必要である。 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の衝突の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要
処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	流れ弾対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	衝突への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

１　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

２　視察・来隊予定　　(Schedules of visitors)

３　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１１月２６日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動及び人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮトンピン地区退避壕構築を実施するとともに、孤児院慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。
　また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2)ア　活動警備レベル（基準）
　(ｱ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]
　(ｲ)　ＵＮハウス地区　　レベル[redacted]（ハウス西側を除く。）
　(ｳ)　ジュバ市内
　　ａ　ｚｏｎｅ２　（ハイアマラット）　レベル[redacted]
　　ｂ　ｚｏｎｅ５　（ハイシネマ）　レベル[redacted]
　イ　宿営地警備　[redacted]

別紙第８－２

３(1)　共　通
第１１次要員への業務の引継ぎ、物品管理検査及び各種整備
(2)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
ＵＮトンピン地区退避壕構築及び車両操縦練成
(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）
孤児院慰問
(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）
車両操縦練成及び孤児院慰問
(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
宿営地警備、同行警備、車両操縦練成及び[redacted]
(6)　ＨＱＵ（本部付隊）
宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動、孤児院慰問及び[redacted]
(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
ＵＮトンピン地区における情報収集
(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
隊長警護及び車両操縦練成
(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
[redacted]

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／５）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	施　設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１２００	ＵＮトンピン内	8		大型×1、油圧×1 散水車×1		
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	3	2	給水車×1、小型×1		
③	その他	給　水	補給班	０９００～１０００	インド歩兵大隊	3	2	給水車×１、小型×１		
④		車両操縦練成	３小隊	０８００～１２００	ＵＮトンピン内	1	1	高機×１、特大型×１		
⑤		車両操縦練成	隊本部（Ｓ－１）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	1	1	高機×1、ランクル×1		
⑥		車両操縦練成	隊本部（広報）	１３００～１６００	ＵＮトンピン内	2	2	高機×１		
⑦		車両操縦練成	警護班	１３００～１６００	ＵＮトンピン内	2	3	高機×1、ランクル×1		
⑧		広報活動	隊本部（広報）	０８００～１２００	ＵＮトンピン内	2		小型×１		
⑨	情報	情報収集	情報班		ＵＮトンピン内					

凡例　　ＵＮタスク

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／５）



④⑤⑥⑦	車両操縦練成
⑧	広報活動
⑨	情報収集

活動概要（ＵＮハウス地区）（３／６）

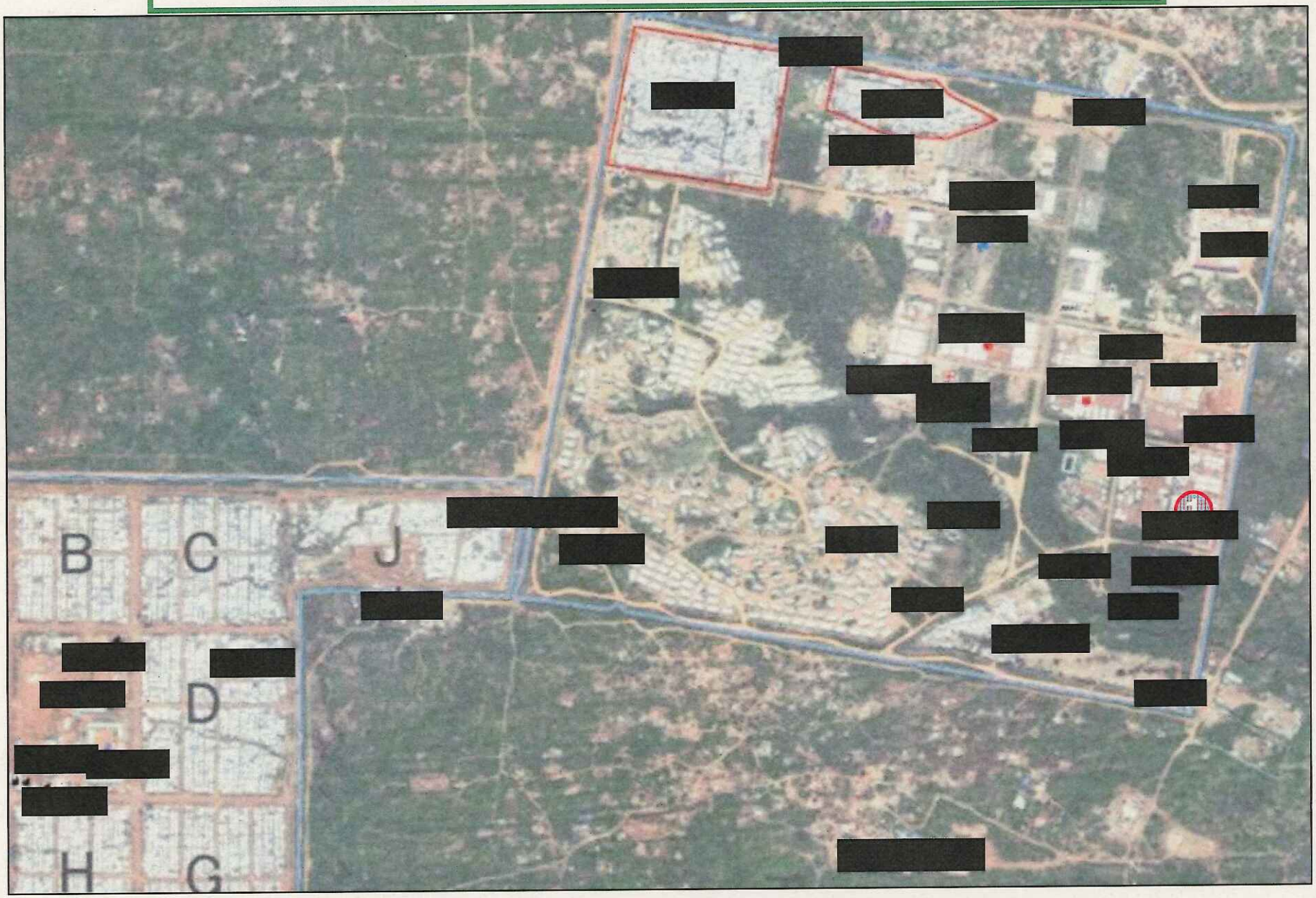
別紙第８－５

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	その他	エチオピア歩兵大隊夕食会	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３） （広報）	１５４０～ １８４０	ＵＮハウス	6	6	ランクル×２		

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／６）



別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）　（５／６）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						＃１０	＃１１		＃１０	＃１１
①	情報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）		ジュバ市内					
②	その他	孤児院訪問	隊本部 各部隊	０８５０～ １２００	ＣＣＣ孤児院	３３	4	高機×５		
③		隊長孤児院慰問視察	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３）	０９４０～ １０５０	ＣＣＣ孤児院	8	4	ランクル×２		
④		現地調達・市場調査	隊本部 （Ｓ－４）	１０００～ １２００	ジュバ市内	4	3	高機×１		
⑤		車両操縦練成	警備小隊	０９００～ １６００	ジュバ市内 ＵＮハウス					
⑥		車両操縦練成	器材小隊	０８００～ １６００	ジュバ市内 ＵＮトンピン ＵＮハウス	3	7	高機×３		

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－８

活動概要（ジュバ市内）（６／６）



別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	後方補給部長　阪田１佐 後方補給部需品班長 [redacted] 後方補給部装備幹部 [redacted]	

１０次隊長及び１１次隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM
１０次隊長	[redacted]	
１１次隊長		

副隊長及び最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
副隊長	[redacted]		
最先任上級曹長			

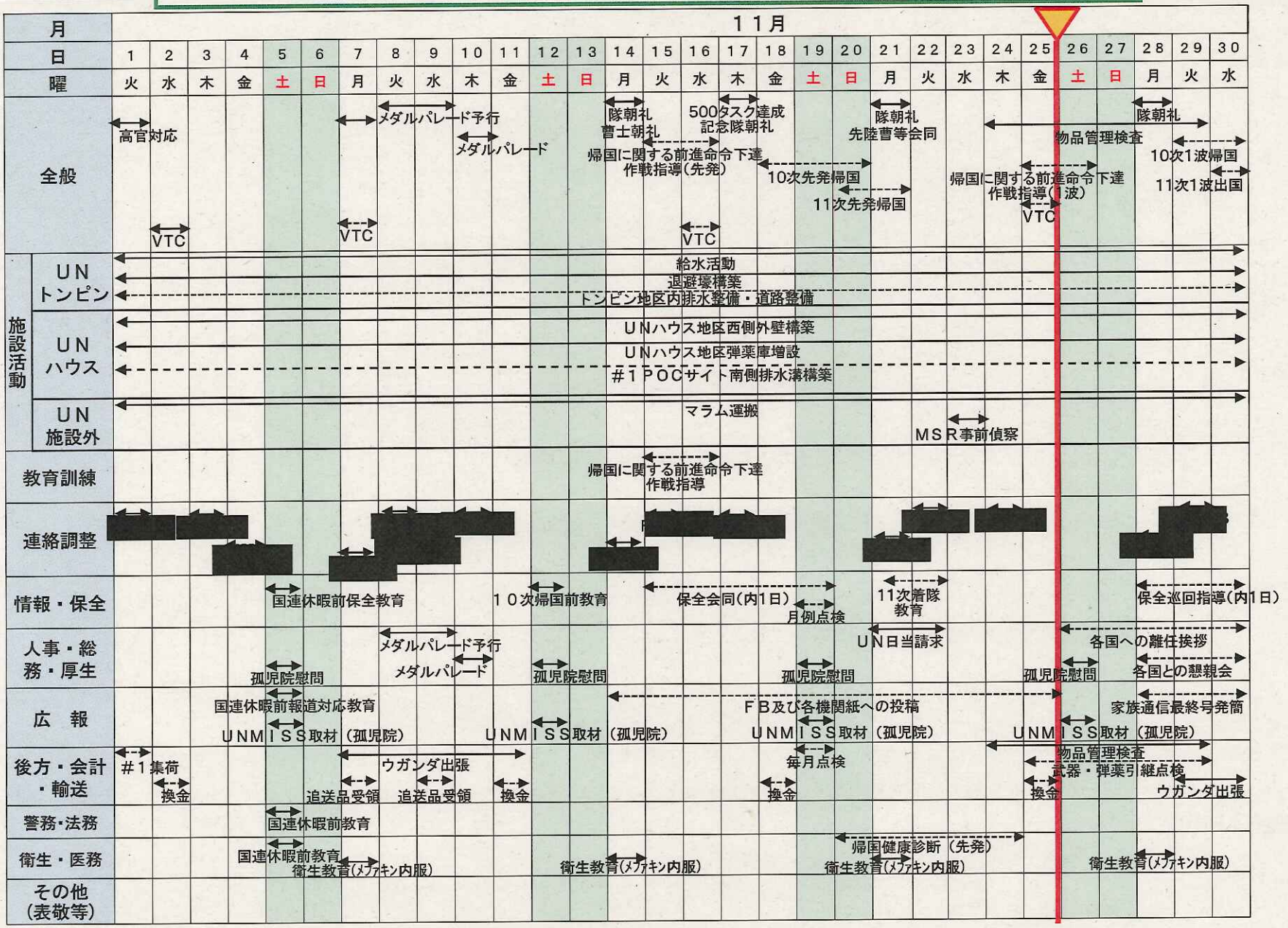
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１１月　月間業務予定

別紙第１１－１



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１１／２０～１１／２６）第５０週

別紙第１１－２

日	１１／２０	１１／２１	１１／２２	１１／２３	１１／２４	１１／２５	１１／２６
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般	[redacted]						
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１１／２７～１２／３）第５１週

別紙第１１－３

日	１１／２７	１１／２８	１１／２９	１１／３０	１２／１	１２／２	１２／３
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

赤字：変化事項

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練 「＃４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	[redacted] ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 ・11/7 ＭＴＣ担当と現在のＭＴＣの状況と１１次隊へ引き継ぐためのニーズ確認等を実施 ・11/23 担当者引継ぎ完了 ・12/14 隊長による次長表敬予定	[redacted]
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	[redacted]	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水質調査支援等の連携のため、ＵＮＰＰＳ側より工事の進捗状況について情報提供をする予定	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（２５日～２６日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

気温(直射)	気温(日陰)	湿　度	総雨量
４０℃	３７℃	５９%	0mm







日(曜) Date		２５日（金）		２６日（土）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動						孤児院慰問 UNの基盤整備			
Juba	天　気								
	気温(℃)	３４	３０	２４	２３	３１	３８	３９	３４
	体感気温(℃)	３３	３０	２６	２５	３２	３８	３９	３３
	降水確率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	雨　量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風　向	北東	南東	南	南南西	南	東北東	北北東	北東
	風　速	1	4	3	1	2	2	3	2
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		２７日（日）	２８日（月）	２９日（火）	３０日（水）	12月1日（木）
主要な活動				＃１０(１波)帰国	情報班・会計幹部ウガンダ出張	
			UNの基盤整備			
Juba	天　気					
	気温(℃)	３９／２４	３８／２４	３９／２４	３７／２３	３８／２３
	降水確率	５０%	０%	５０%	６０%	３０%
	雨　量	０mm	０mm	０mm	０mm	１mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	２８／１６	３０／１６	３２／１５	３０／１５	３／１
	降水確率	９０%	９０%	６０%	７０%	４０%
	雨　量	３mm	３mm	５mm	３mm	４mm

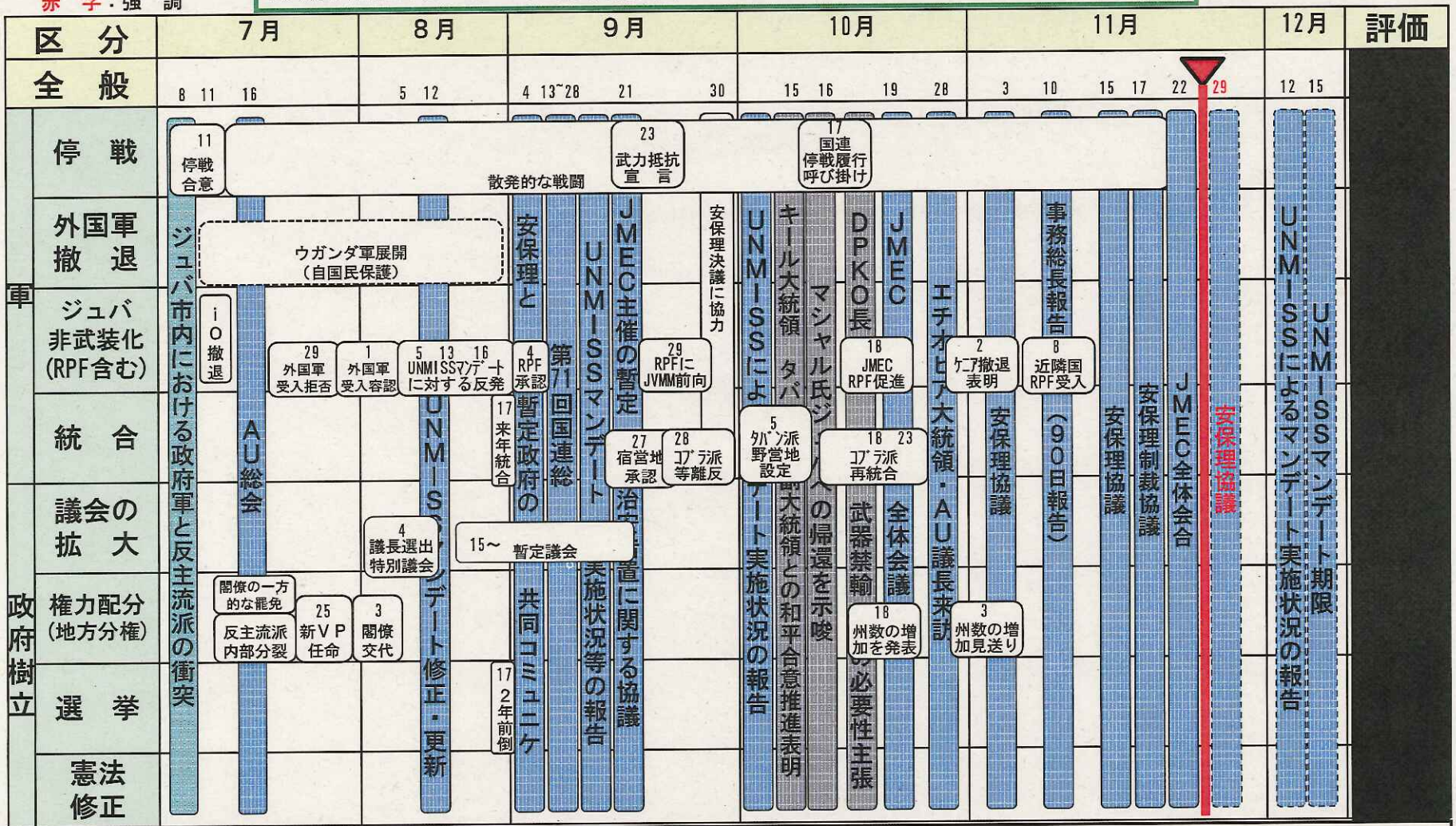
凡例　影響度：　問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは、期間を通じて天候が安定するものの、突然の降雨等には注意が必要 2　ウガンダは、期間を通じて降水確率が高く降雨等に注意が必要

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価

衝突解決合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との衝突解決合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、進展は低調な状況であるとともに、衝突解決合意履行に関して、主導的な役割を担っていたケニアが撤退を開始したことから、地域保護部隊の展開を含めて、今後の協議には更に時間を要する可能性

また、安保理においては具体的な制裁に関する決議は採択されていないものの国際的な圧力が今後強まる可能性もあり、ハラスメントやデモ等に関連する政府側の動向には注視が必要

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 — 2016.7 — 2018

安定 / 不安定

衝突解決合意

合意履行状況



暫定政府

ジュバ衝突事案

政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

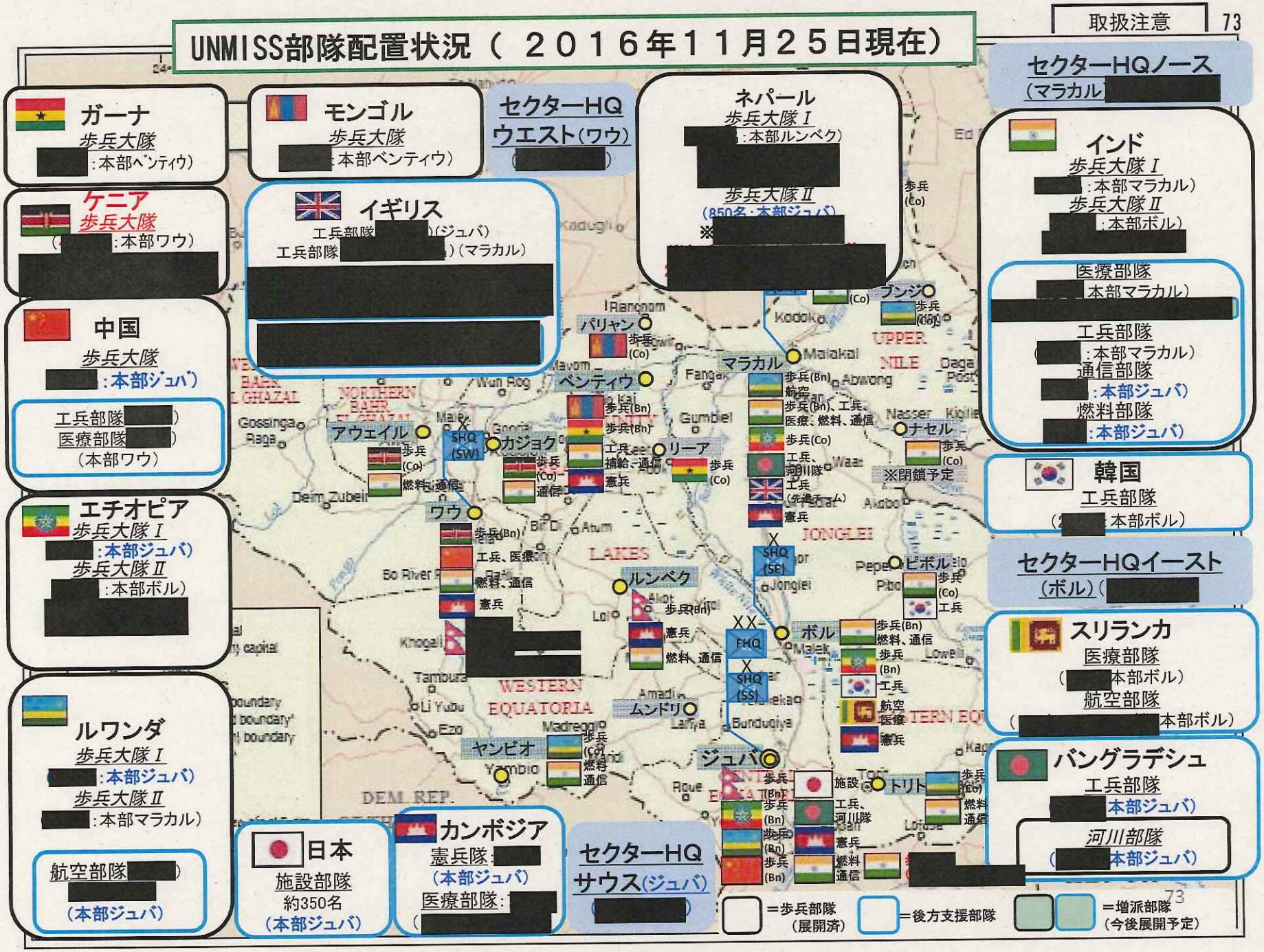
関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

UNMISS部隊配置状況（２０１６年１１月２５日現在）



セクターサウス内部状況（２０１６年１１月２５日現在）



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
（　　：本部ジュバ）
[redacted]

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
（　　：本部ジュバ）
[redacted]
航空部隊[redacted]
（本部ジュバ）

日本
施設部隊
（約350名：本部ジュバ）

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ（本部：ボル）
[redacted]

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
（　　：本部ジュバ）
[redacted]

バングラデシュ
施設部隊：[redacted]（本部：ジュバ）
河川部隊：[redacted]（本部：ジュバ）

指揮：[redacted]
（本部；ジュバ）
[redacted]

中国
歩兵大隊
（　　：本部ジュバ）
[redacted]

カンボジア
憲兵隊：（本部：ジュバ）
医療部隊：（本部：ジュバ）

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

＝増派部隊　＝後方支援部隊

人員現況（第１０次要員）

２８．１１．２５
１５００ｃ

場　所	部　隊		総　員	幹部(O)	准曹(WS)	陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部		[redacted]						ウガンダ出張２名 （会計幹部　通訳班長）
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
	施設器材小隊								
	第１施設小隊								
	第２施設小隊								
	第３施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								
合　計			295	64	219	12	293	2	

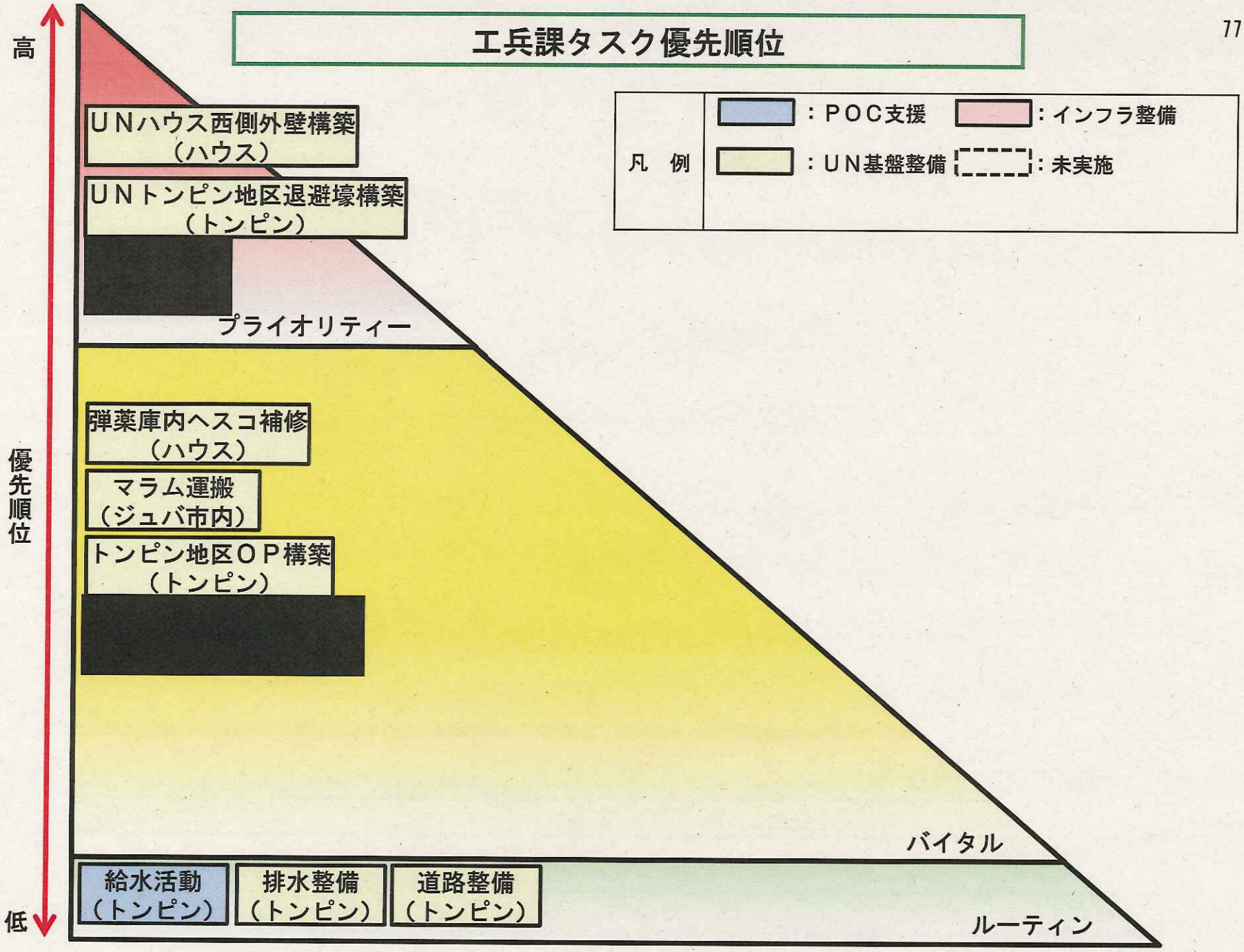
凡例　青字：不在者

人員現況（第１１次要員）

28．11．25
１８００ｃ

場所	部隊		総員	内訳			現在員	事故	理由
				幹部(O)	准曹(WS)	陸士(P)			
ジュバ	隊本部		[redacted]						
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
	施設器材小隊								
	第１施設小隊								
	第２施設小隊								
	第３施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								
合計			129	46	82	1	129		

工兵課タスク優先順位


高
優先順位
低
凡　例
：POC支援
：インフラ整備
：UN基盤整備
：未実施
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫内ヘスコ補修
（ハウス）
マラム運搬
（ジュバ市内）
トンピン地区ＯＰ構築
（トンピン）
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン

２０１６年１１月２５日タスク等現況（１／２）

凡　例　：POC支援　：インフラ整備　：UN基盤整備　：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	UN基盤整備	1	UNハウス西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施計画				
492	UN基盤整備	2	UNトンピン地区退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施計画				
515	UN基盤整備	3	弾薬庫内ヘスコ補修	UNハウス	ヘスコ補修	実施計画				
500	UN基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日累計				
476	UN基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	UNトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
522	UN基盤整備	6	メインゲート支柱埋設孔穿孔	UNハウス	支柱埋設孔穿孔	実施計画				
325	POC支援	7	給水活動	UNトンピン	給　水					
471	UN基盤整備	8	排水整備	UNトンピン	排　水					
459	UN基盤整備	9	道路整備	UNトンピン	道路整備					

２０１６年１１月２５日タスク等現況（２／２）

凡　例	：UN基盤整備　：インフラ整備

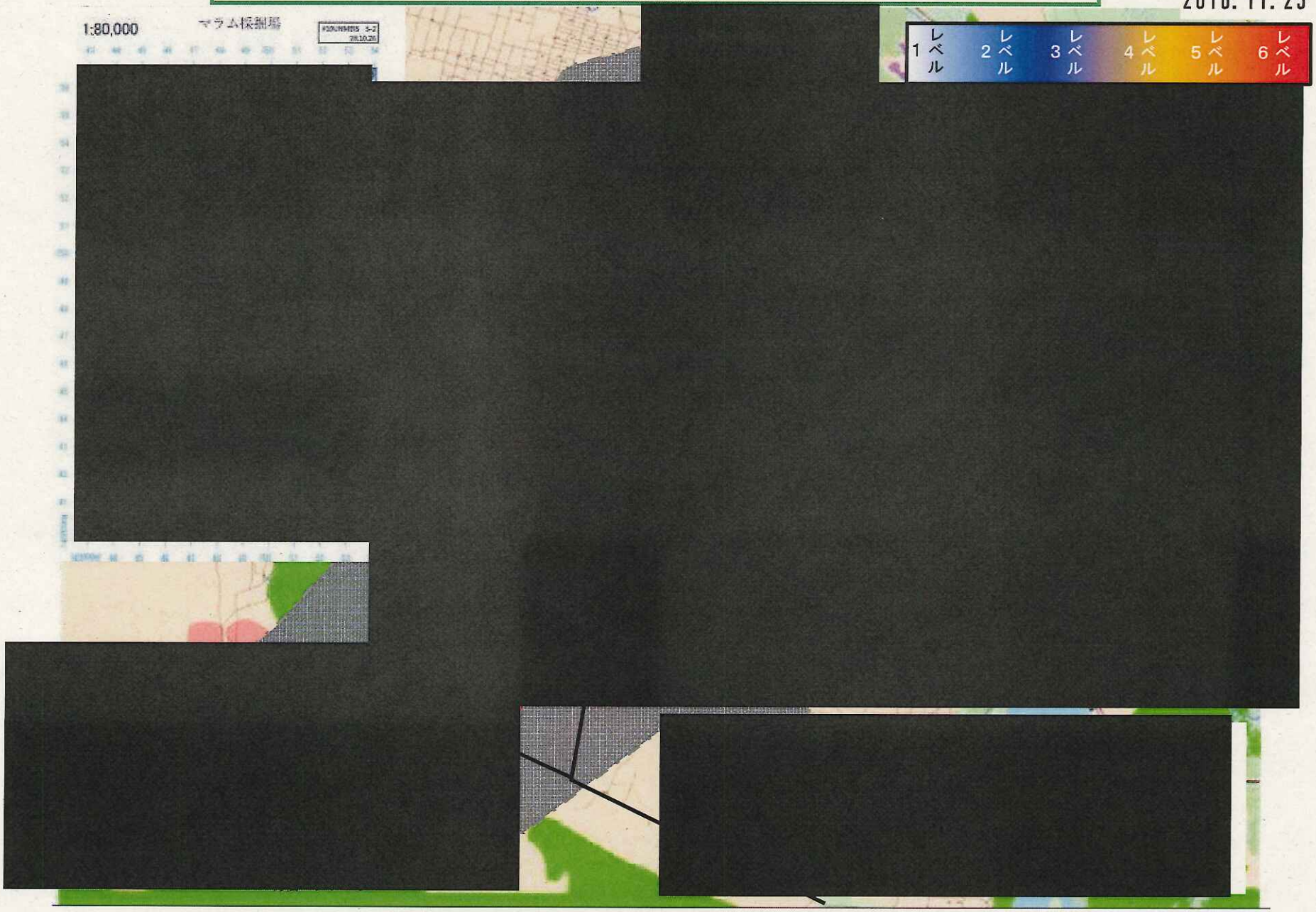
２　未実施

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	UN基盤整備		[redacted]	UNトンピン	[redacted]		[redacted]			
513	インフラ整備									

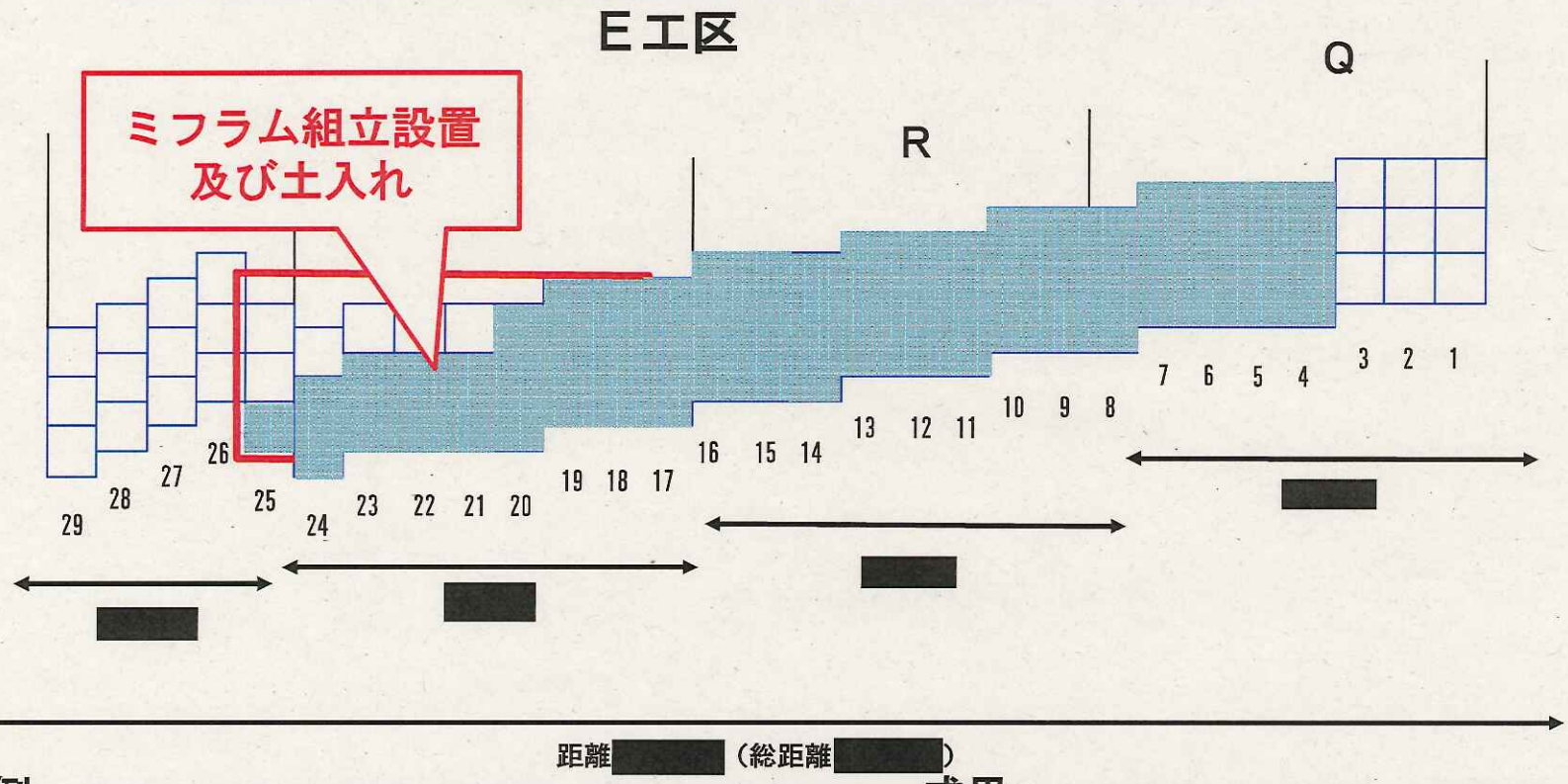
タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５２２ （５０８）	プライオリティー	１６	
	バイタル	８０	
	ルーティン	３	
	計	９９	
		完　了	８９
		実施中	８
		未実施	２

地域脅威レベル評価（２０１６年１１月２５日現在）

2016.11.25



UNハウス西側外壁構築（２０１６年１１月２５日現在）



凡例

- ミフラム設置
- 型枠設置箇所
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

成果

ミフラム設置 [redacted]

※　赤字：作業完了により変更部分

UNハウス西側外壁構築（２０１６年１１月２５日現在）



マラム運搬の成果について（１１月２５日（木））



全　般	○　本日のマラム運搬は１回計画・実施 ○　チェックポイントにおけるＳＰＬＡの感情は比較的良好な模様

区　分	ＡＭ			
	UNトンピン発	マラム採取場着	マラム採取場発	UNトンピン着
計　画	0920c	1100c	1140c	1320c
実　施	0925c	1054c	1133c	1302c

成果（本日）	[redacted]
実績（延べ）	[redacted]
編成・装備	○　編　成 施設器材小隊長以下１６名[redacted] ○　装　備 ・　車両：特大型×４両、高機動車×２両 （計６両[redacted] [redacted] ○　梯隊区分 バングラ隊及び派遣施設隊により実施 （バングラ隊２両、派遣施設隊６両） [redacted]
検問等の状況	○[redacted] ○　手振り反応あり
その他	○[redacted]

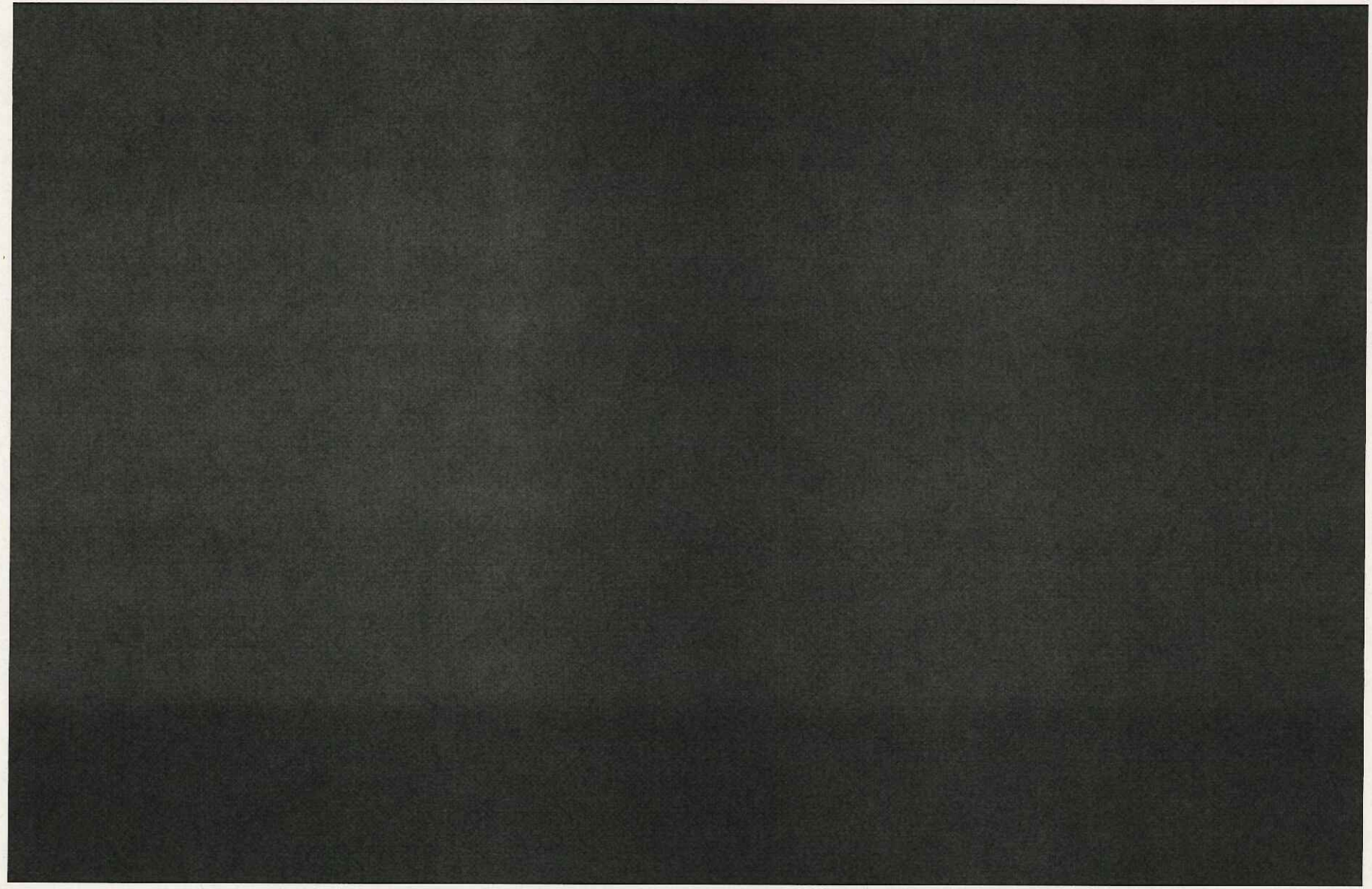
物品管理検査　全般日程

月	11					
日	24	25	26	27	28	29
曜	木	金	土	日	月	火
行動の概要						

隊員服装・装備等基準

区　　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢 [redacted] （１１月２５日１７００現在）



活動写真


UNタスク（UNトンピン）
UNトンピン内退避壕構築
（施設器材小隊及び第１施設小隊）


UNタスク（UNトンピン）
UNトンピン地区退避壕構築
（施設器材小隊及び第１施設小隊）


UNタスク（UNトンピン）
UNトンピン内退避壕構築
（施設器材小隊及び第１施設小隊）


UNタスク（UNトンピン）
UNトンピン地区退避壕構築
（施設器材小隊及び第１施設小隊）

活動写真

自隊計画（ＵＮハウス）



ネパールＦＰＵメダルパレード参加

自隊計画（宿営地）



テレビ会議実施要領申し送り
（通信班）

自隊計画（宿営地）



物品管理検査受検
（宿営地実視）

自隊計画（ＵＮハウス）



物品管理検査受検
（ＵＮハウス実視）